

『一生懸命』幻の新座市議会報告第161弾!



たかむらともや

2018年6月30日発行

対抗戦

日大のアメリカンフットボール部が問題になっています。20歳の若者の謝罪会見が立派でした。“勇気を持って真実を語ってくれたことには敬意を表したい。”と関西学院大の監督も言っています。本当に立派な若者の姿でした。若者が真実を言い、指導者が「嘘」をつく。まるで今の国会を見ているようでした。それにしても日大の監督、コーチ達の無様な姿はなんなのでしょう。安倍政権の「嘘」を真似たのでしょうか。

僕達、北大庭球部も東北大庭球部との対抗戦では燃えに燃えましたが、汚い手を使って勝ちたいと思ったことはありません。お互いに、ジャッジはいつも綺麗にしてきました。だから、今でも東北大とは仲がいいのであり、対抗戦も延々と続いているのです。東北大の選手を潰すということは、北大の仲間を潰すのと同じで、全く考えられません。若い頃に本気で戦った「敵」は、実は生涯の「友」なのです。それこそがスポーツです。競技は違っても、底に流れるスポーツの精神は同じではないでしょうか。日大のアメフト部の選手たちは何という指導者と出会ってしまったのでしょう。彼らにとっては本当に悲劇です。

大人になった大学生でさえ、こんなに影響を受けるのですから、小中学生達がスポーツ指導者から受ける影響はもっと大きいかも知れませんね。

下の写真は東北大の大先輩、松原さん(中央)小山さんとのスリーショットです。違う大学なのですが、本当の後輩以上に可愛がってもらっています。大好きな先輩達です。



6月の川掃除は24日(日)の予定です。9時に栗原一丁目公園に集合です。夕方5時から反省会があります。どっちも楽しいですよー。

たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。新宿区立西戸山小中学校卒。超有名な悪ガキだった。

偏差値も40しかなく、西戸山中学校1年生の時には「バスケット部」「バレー部」「テニス部」と3つの部活を渡り歩くなど、いい

加減な中学生の見本のような生徒だった。そんなバカチンが2年生の時に出会った河合先生の影響で勉強も始め、河合先生の影響で中学校の教師になってしまったのだからふざけている。

教師時代は理科と数学・理科と国語・など、学年をまたがり色々な教科を同時に担当する。

今は石神3丁目の「たかやん塾」で小中高生の子ども達と一緒に学ぶのが生きがいである。

写真は93歳の母さんとのSNOWのツーショット。駅立ちを初めて12年。ひばりが丘北口、東久留米東口、保谷北口、新座南口、志木南口、清瀬北口清瀬南口・・・の順に立っている。

議会では「町内会問題」や「PTA問題」を取り上げているので、町内会やPTAで頑張っている人たちには嫌われている。一方「日本教育新聞」に取り上げられるなど、全国的にも注目されている。

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 国会とアメフト

国会で、重要な法案を通そうとするとき、必ずスキャンダラスな事件が起きて、ニュースの大半を占めます。今日も「働き方改革法案」よりも「日大のアメフト問題」が多く取り上げられています。

経団連の強い要求で生まれた「働き方改革」ですから、大企業には都合のいい法案だということは直ぐに分かります。「TPP11」にも同様の力が働いているのでしょう。TPPは国と国との協定ではありません。グローバル産業対国の協定です。日本のグローバル企業が他国の国民の富を搾取することも知らなければいけません。

芥川賞作家の笠野頼子さんの言葉です。

”TPP 反対。農協から郵貯から貯金は海外に持ち去られる。荒廃した農地、もしそこが海外から来る核廃棄物の置き場にされても、ISDS(投資家対国家の紛争処理)裁判で正当化される。医療は崩壊し、食物には農薬。公害で病気にされ医者にかかれない。種子と水は奪われたまま。自由貿易は人喰いのすること。批准してはいけない。日本を世界企業の奴隷にしてはいけない。”

「郵政民営化」が実現し、「種子法」が廃止され、「農協解体」が進められている今、彼女の言葉には重みがあります。TPP11にアメリカが加わったらモンサントなどの穀物メジャーが参入し日本の「食の安全」が脅かされるのは目に見えています。

「加計問題」「森友問題」で揺れに揺れている国会ですが、国民の目を逸らす為の作戦かも知れない。そう思えるくらい、今の国会は滅茶苦茶です。

「働き方改革」という名の「残業代ゼロ法案」は労働者を守ってきた「労働基準法」を完全否定するものです。僕の父親は長く中央労働委員会で仕事をしていました。そして、富山と茨城の労働基準局長として労働者を守る仕事をしてきました。

当時の国家(地方)公務員は政治家の顔色を伺うような軟弱な人間はいなかったのです。国の為に命がけで戦った男達は何が大切かを知っていたのだと思います。生活は貧しくても志は高かったのです。どさくさ紛れに「TPP11」を通す安倍政権。彼は「日本を取り戻す」と言っていますが、これ以上「安倍政治」が続いたら、日本を取り戻すどころか、「崩壊」するでしょう。なんとかしなくては……。

③ 心に残った本



最近読んだ本の中で心に残った本の中から2つ、選んでみました。

左側の本は「片づけの心理法則」という本です。僕は片付けが好きな方なのですが(昔は大の苦手でした)この本を読んでから、家の中(外)が少しずつ綺麗になって、それを維持できるようになってきました。よく分かりませんが片づけておかないと気が済まない自分がいるのです。昨日よりも今日、ちょっと綺麗になっていると、心が落ち着き、幸せな気持ちになるから不思議です。片付けが得意な人も、苦手な人も読んでみてください。

もう1冊が散歩の草花図鑑です。五中、六中時代は子ども達を連れて、黒目川に行き、土手に咲く草花の名前を子ども達と一緒に調べて、みんなで覚えて、楽しい時間を過ごしました。ホトケノザ、ナズナ、ハルジオン、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、ハハコグサ、スズメの帷子、シロツメクサ、ムラサキツメクサ、カタバミ、オランダミミナグサ、オオバコ、カラスノエンドウ……黒目川の土手は任せて！そう思っていたのですが……

それから長い時が流れ、草花達の様子も随分変わってきました。ナガミヒナゲシ、ハルシャギク……

川掃除をしてそんな草花に出会うと、「たかやん！この花なあに？」と子ども達に聞かれて、「クッソ一、わからん！」そこで買ったのがこの本です。この本のお陰で、川掃除の楽しみが増えました。

6月4日から議会がはじまります。放課後保育室道路問題、障がい福祉計画、教育問題……うーむ通告の締め切りは3日後、頑張ります！！



読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m